

オープン市場短信 (2006年5月)

2006.5.11

4月のCP市場動向

4月のCPの新規発行額は、前年度末に有利子負債圧縮のため残高を落とした企業の復活発行があって期落ち(約3兆2,700億円)を大きく上回る約4兆5,200億円となった(除く、ABCP・金融機関発行CP)。業種別では、輸送機器・鉄鋼・その他金融などの発行が目立ったほか、電力会社各社の発行残高合計も昨年7月以来久しぶりに8千億円台に戻した。

短期社債の4月末発行残高は約19兆1,828億円(前月比5,588億円増)であった。業態別の発行残高前月比は、事業法人が約6,000億円増、その他金融も約7,200億円増加したが、銀行等金融機関・ABCPは減少していた。

4月末時点の発行登録企業数は402社で、既発行企業は356社(推定)であった。

発行レートは、日銀の当座預金残高の減少ペースが緩やかで資金余剰感が強く残る中、投資家が積極的に運用に動いたことなどから、上昇圧力にブレーキがかかり全般的に低下地合いで推移した。月初は期日の短い案件中心にレート低下が目立ったが、徐々に投資家の運用ニーズが進み、7月期日物で13・14日の金融政策決定会合を超える発行案件についてもレートが低下し、a-1格銘柄で月初0.15%以上であった発行レートが月後半0.10%割れの水準で約定成立した例も見られた。

発行レートレベルは、3M物で最上位格付けでは0.03台～0.10%近辺。a-1格オペ適格で0.09台～0.16%近辺であった。

銘柄別の発行レート

4月のCP取引発行レートレンジ

単位 %

格付	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.012 ~ 0.030%	0.02 ~ 0.063%	0.034 ~ 0.100%
格付 a-1(オペ適格)	0.028 ~ 0.080%	0.029 ~ 0.088%	0.089 ~ 0.159%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.01 ~ 0.090%	0.024 ~ 0.085%	0.033 ~ 0.110%
格付 a-1(リース銘柄)	~	0.085 ~ 0.100%	0.105 ~ 0.19%
格付 a-2	0.06 ~ 0.155%	0.14 ~ 0.21%	0.10 ~ 0.30%

CP オペ

CP現先オペは、月中5回の期日が到来したが、結局2回継続されただけに止まった(4/12、4/24オファー分)。買入れ予定額は各3,000億円で、いずれも応札はオファー額を上回った。4/24オファー分についてはオファー額の倍以上の応札があり、足切りレートは0.006%に上昇(前回0.003%)した。

4 月末の CP オペ残高

ABCP 買切りオペ 505 億円

CP 現先オペ 1 兆 1,695 億円

(短期社債・保証付短期外債 11,027 億円/資産担保短期債券 668 億円)

ABCP

4 月末の ABCP の発行残高は、約 5 兆 6,380 億円と、前月比 2,658 億円減少した。

現先市場

月中現先レートは、インターバンク・レポ GC レートの強含み地合いを受け上昇し、0.008~0.025%のレンジでの出会いとなった。

5 月の CP 市場動向

5 月中の CP 償還額は、約 3 兆 2,500 億円と 4 月に続いて前年同月 (約 2 兆 7,000 億円) を大きく上回っている (除く金融機関発行 CP・ABCP)。5 月は月後半に賞与資金手当の発行が見込まれることから、新規発行額は前年同様償還額を 1 兆円弱上回ると思われる。

発行レートは、4 月末以降ゼロ金利早期解除の思惑等から地合いが変化し、全般的に上昇基調となっている。現先金利・レポ金利が強含み、連休明け後も低下する気配が見られない。短国市場では、新発 TB・FB レートが上昇している (5/10 現在 FB387 回新発債はセカンドリーで 0.19% 出会い)。CP レートは、2 月に他市場金利を先取りして急騰した後落ち着いていたが、ここへきて他市場金利に追従する格好で再び上昇する動きとなっている。今後は、具体的なゼロ金利解除時期を意識したレート形成が進むと思われる。月後半にかけては発行案件が増加するにつれ、投資家の運用姿勢が慎重化すると思われるため、更にレートは強含みとなるだろう。

CP オペ

現先オペは、月中 3 回の期日が到来するが前月同様当日の資金需給を均す目的での対応となるだろう。実際に、5/11 期日のオペは見送られたが、源泉税揚げで資金不足日に当る 5/12 のスタートで新規オペが実施されている。今後も、大幅な資金不足日などに限って、機動的にオペが実施されることになるだろう。

現先市場

月中現先レートは、T/N・S/N とともに 0.025~0.045%、ターム物で 0.025~0.045% 近辺での出会いを予想。

(松倉)

参考資料

業種別発行残高内訳

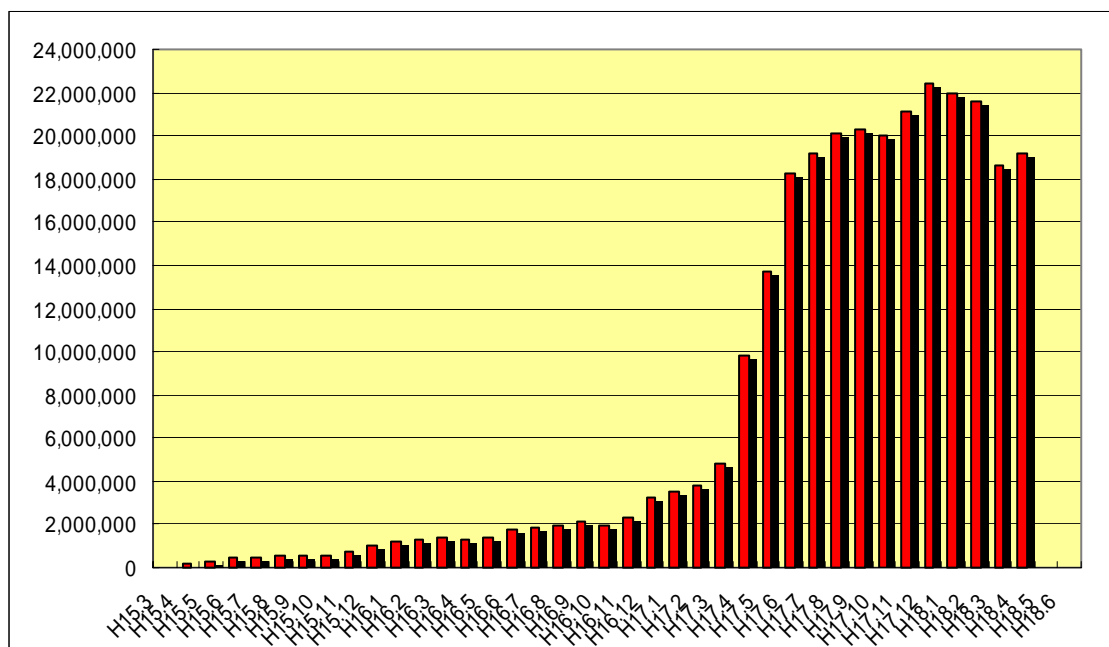
			単位:億円
業種	4月末残高	3月末残高	増減
事業法人	43,871	37,903	5,968
その他金融	63,555	56,384	7,171
金融機関	30,679	35,571	4,892
(銀行等)	15,733	20,129	4,396
(証券)	14,946	15,442	496
ABCP	53,723	56,382	2,659
計	191,828	186,240	5,588

短期社債月末発行残高

4月末 発行残高: 19兆1,828.19億円

発行登録企業: 402社(発行実績あり) 356社)

(単位:百万円)



4 月末発行残高ベスト 20

(単位:百万円)

	発行企業名	4 月末残高
1	フォレスト・コーポレーション	8,871.37
2	オリックス	8,141.00
3	エイベックス・ファンディング・コーポレーション	7,058.00
4	みずほフィナンシャルグループ	5,670.00
5	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,260.00
6	ダイヤモンドリース	4,763.00
7	ミレミアム・アセット・ファンディング・コーポレーション	4,262.80
8	住友信託銀行	4,163.00
9	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	4,069.00
10	三菱東京 UFJ 銀行	3,622.00
11	みずほ証券	3,572.00
12	住商リース	3,565.00
13	東京リース	3,028.00
14	UFJ セントラルリース	2,860.00
15	エイチジーエム・アセット・コーポレーション	2,832.00
16	大和証券 SMBC	2,797.10
17	新日本石油	2,710.00
18	三菱商事	2,650.00
19	日産自動車	2,610.00
20	中部電力	2,570.00

参考出所 (株)証券保管振替機構